

プラスチックリサイクルを通じて地球環境保全に貢献するパンテック。同社の特徴の一つが取り扱う樹脂の幅広さ。汎用樹脂、エンジニアリングプラスチックはもとより、他社では取り扱いが困難な複合素材も有価資源としている。シンカポール、ベトナムに駐在事務所を置き海外拠点を起点としたグローバル展開を行う一方で、近年では日



黒木政明社長

本国内での事業基盤整備に力を注いでいる。リサイクル業界全体の将来を見据え、さらなる可能性を追求しながら事業展開を図っていく業界リーダー（黒木政明社長）としての取り組みが進んできた。

同社は2015年に東京支店を、16年に九州支店を相次ぎ開設した。東京支店は引取量、収益とも同社全体の20%を占めるまでに急成長している。九州支店も引取量が増加

# 国内基盤整備に力注ぐ

## 顧客に合わせ最適提案

基調にあり、化学メーカー、成形メーカーを軸に事業拡大を進めている。

また全国のコンパウンダーと提携しており、各種再生ペレットを全国のエリアに販売している。海外での先進的取り組みが目立つ同社だが、早い段階から国内でのコンパウンディングに着手しており、国内でのリサイクルフローに乗せている。海外向け原料よりはるかに高い品質の再生原料を安定的に取り扱い、日本国内での透明性の高いリサイクルの実現に注力している。

多種多様な樹脂の取り扱いと全国に張り巡らせたリサイクルシステムを生かして全国の回収ネットワークからユーザーのスペックに合わせた樹脂スクラップの選定、コンパウンド化、ペレットの供給へと結びつける取り組みも広がってきた。

国内外のリサイクルネットワークを駆使し、最適なソリューションを提供することで、プラスチックのトータルプロデュース企業として存在感をさらに高めていく。